

ルクセンブルク経済・金融情勢（2014年3月後半）

1. 経済

- 2013年第4四半期の被雇用者数は、前期比+0.6%、前年同期比+1.9%。（17日付統計局プレスリリース）
- SES社、22日にギアナ宇宙センターより、通信衛星アストラ5Bの発射に成功。（24日付ル・コティディアン紙）
- 2014年2月の失業率は7.1%（前月は7.1%、前年同月は6.6%）。（25日付統計局プレスリリース）
- カーゴルクス社、新CEOにディルク・ライシュ（Dirk Reich）氏を任命した旨26日に発表。（26日付ヴォルト紙電子版）
- 2014年3月の消費者信頼感指数は▲2で、前月の▲1よりやや後退。（28日付中央銀行プレスリリース）
- 米格付会社スタンダード&プアーズ社、ルクセンブルク長期国債の格付を「AAA」と維持し、見通を「安定的」（継続）と28日に発表。（28日付政府公報）
- 2013年第4四半期のアパート価格は、前期比+1.2%、前年同期比+4.8%。（31日付統計局プレスリリース）

2. 金融

- 英シンクタンクZ/Yenグループによる世界金融センター指数（毎年3月及び9月に発表）において、ルクセンブルクは世界83の金融センター中、12位（前回は13位）。（17日付ルクセンブルク・フォー・ファイナンス）
- KBLプライベートバンカーズ、2013年の収益は540.6百万ユーロ（前年比+37%）、純利益は84.5百万ユーロ（前年は▲249.9百万ユーロ）。（21日付ル・コティディアン紙）

3. 政府

- グラメーニャ財務相、18日開催のルクセンブルク・ファンド協会のセミナーにてスピーチ。（19日付ヴォルト紙電子版）
- ルクセンブルク政府、2014年予算案を欧州委員会に17日に提出。（17日付政府公報）
- ベテル首相、20日及び21日にブリュッセル開催の欧州理事会に出席。EU貯蓄課税指令改正指令案につき合意した。（21日付政府公報）
- ライネシュ中銀総裁、バシリャウスカス・リトアニア中銀総裁とルクセンブルクで24日に会談。（24日付中央銀行プレスリリース）

- ギヨーム皇太子及びシュナイダー経済相、カナダ及び米に経済ミッションで24日から28日にかけて訪問。(24日付経済省コミュニケ)
- 欧州委員会、24日にルクセンブルク政府に対し、タックスルーリング制度及び知的財産関連税制に係る情報提供を1ヶ月以内に行うよう要請。(25日付ヴォルト紙電子版)
- グラメーニャ財務相、金融セクター振興ミッションのために24日から26日にかけてサンフランシスコを訪問。(26日付財務省コミュニケ)
- ベテル首相、25日にルクセンブルク銀行協会(ABBL)の75周年式典でスピーチ。(26日付ル・コティディアン紙)
- ベテル首相、26日にリー・シンガポール首相とルクセンブルクで会談。(26日付首相府コミュニケ)
- ベテル首相、付加価値税(VAT)の標準税率を2015年1月1日より2ポイント上げる旨28日に発表。標準税率は現行の15%から17%に、中間税率(現行12%)及び軽減税率(現行6%)もそれぞれ2ポイントずつ引上げられるが、食料品などに適応される超軽減税率(現行3%)は引上げられない。(28日付政府公報)
- 米国との間でFATCA(米国外国口座税務コンプライアンス法)政府間協定に28日に署名。(28日付財務省コミュニケ)

※ 当国政府機関の公表資料や各種報道等の公開情報を取りまとめたもの。